

NEXUS

2025
No.763

7

「NEXUS（ネクサス）」とは、ラテン語で“結びつける”という意味で、会員組合はもとより、中小企業の方々、関係機関等との結びつきを緊密にしながら、ご活用頂ける情報誌をめざします。



CONTENTS

- | | |
|---|---|
| <p>01 ●Opinion
「就任の御挨拶」
一般社団法人岩手県建設業協会 専務理事 岩渕 伸也</p> <p>02~13 ●主要記事</p> <p>02~03 第70回 岩手県中小企業団体中央会 通常総会 開催</p> <p>04 全国中小企業団体中央会 通常総会</p> <p>05 岩手県商店街振興組合連合会 通常総会 開催
全国中小企業青年中央会 通常総会・UBAサミット 開催</p> <p>06 大樹生命保険㈱岩手支社との連携協定締結
「希望いわて」等との政策懇談会 小山田会長 出席
令和7年度第1回 いわてで働こう推進協議会 瀬川専務理事出席</p> <p>07 全国中小企業組合士協会連合会 令和7年度通常総会 出席
令和7年度第1回「もりおか開運ホコテン」開催</p> | <p>08 中小企業省力化投資補助金（一般型）第3回公募開始</p> <p>09 中小企業省力化投資補助金「カタログ注文型」公募受付中</p> <p>10 令和7年度働き方改革推進支援事業の概要</p> <p>11 起業支援金 活用事例のご紹介:ジェラテリア ティアーラ（紫波町）</p> <p>12 企業連携による地域課題対応新事業展開支援事業費補助金
活用事例のご紹介:氷沢鋳物工業協同組合（令和6年度採択）</p> <p>13 中小企業退職金共済のご案内
毎月勤労統計調査（特別調査）へのご協力をお願い</p> <p>14~15 ●岩手県内中小企業の景況（5月）</p> <p>16 ●中央会Information
岩手県中央会第50回県大会及び創立70周年記念式典 開催のご案内
第77回中小企業団体全国大会 開催のご案内
中央会 新入職員の紹介</p> |
|---|---|

岩手県中小企業団体中央会

<https://www.ginga.or.jp/>

「就任の御挨拶」

一般社団法人岩手県建設業協会 専務理事 岩渕 伸也



(一社) 岩手県建設業協会の専務理事の岩渕伸也と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、令和3年4月から今年の3月末までの4年間、岩手県商工労働観光部長として、岩手県中小企業団体中央会の皆様には一方ならぬお力添えをいただきました。

特に、コロナ禍においては、様々な支援金や助成金の支給をはじめとした前例のない取組を展開させていただきました。

また、起業・スタートアップ支援、U・Iターンの促進、更には、物価高騰対策、賃上げ支援の実施などを含めた様々な取組を円滑に進めることができたのは、ひとえに、中央会の皆様の支援があったからこそであり、この場をお借りして、深く感謝申し上げます。

ここ数年を振り返れば、無我夢中の毎日でありましたが、社会経済環境の変化の驚くほどの速さを強く認識しております。

コロナ禍においては、東北新幹線の一車両に数人の乗車客であったのが、今では、外国人観光客が多数乗車し、盛岡市内やみちのく潮風トレイルをはじめとして広く岩手県内を訪れており、こうした状況をつい当たり前のように見ている自分に対し、何か不思議な感じを抱いている日々でもあります。

一方で、国際情勢の変化に起因した物価・資材価格の高騰の影響が終息が見えないまま継続し、4月以降、建設業に及ぼしている影響の深刻さを改めて実感しているところです。

こうした厳しい環境の中、岩手県建設業協会では、天候の影響を受けやすく、熱中症対策などにも必要な職場環境において、今年度から、公共工事を土曜日と日曜日は休工とする働き方改革に向けた取組、また、小中学校を訪問しての建設機械の試乗体験や高校生を対象とした受検準備講習会といった担い手確保に向けた取組などを積極的に展開しています。

また、先般、「国土強靱化実施中期計画」において、来年度からの五か年の事業規模が、現行の十五兆円を上回る二十兆円強を充てることが閣議決定されたところであり、将来にわたって、持続的に国土強靱化が図られることに大きな期待を寄せています。

頻発する自然災害、社会インフラの老朽化、また、今年の元旦から立て続けに発生した高病原性鳥インフルエンザなどの危機管理にあたっても、建設業が最前線でその対応にあたっています。

今後におきましても、地域の人々が安全・安心に暮らせる「地域の守り手」としての社会的役割を担っていく必要がありますので、引続きのご支援・ご協力をお願いいたします。

第70回 岩手県中小企業団体中央会 通常総会 開催

6月16日（月）、本会の第70回通常総会を盛岡市のホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングで開催しました。

本会会員434人のうち193人（委任状を含む）の出席を得たほか、岩手県知事をはじめ関係各機関から来賓のご臨席をいただきました。

議事では、上程された全7議案が原案どおり、満場一致により可決決定され、役員の補充選挙においては熊谷立志氏（岩手県旅館ホテル生活衛生同業組合）、佐藤万寿美氏（盛岡市建設業協同組合）、高橋克史氏（協同組合江釣子ショッピングセンター）が新たに選任されました。

令和6年度実施の事業推進にあたり、本会では4つの重点支援項目を定め、これを強力に推し進めて参りました。

特に昨年度は、国際情勢の緊迫化や円安進行の影響により、エネルギー価格や仕入コストは歴史的な高騰を見せ、更には人口減少を背景とする人手不足が顕在化する中、かつてない勢いで賃上げ圧力が高まるなど、中小企業を取り巻く経営環境は予断を許さない状況で推移しました。

本会では、このような状況下、複数の企業・団体等が連携し、生産性の向上や商品の付加価値を高める取組み等への支援や、新型コロナウイルス感染症の影響により経営等に課題を抱える組合等を対象に専門家を活用した支援を行うとともに、人口急減に対処する特定地域づくり事業協同組合の設立・運営支援を実施しました。

また、組合及び組合員の経営基盤強化のため、経営計画等の策定や新事業創出、創業等の支援に加えて、「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」の取組の促進、補助事業の適正な実施を支援する「ものづくり支援センター」の設置運営など、円滑な事業実施に向けた支援を展開しました。

さらに、社会的事業を実施する起業予定者への企業支援金の公募・審査・伴走支援及び起業支援金の支給を行う事業の執行団体として事業を実施するとともに、地域経済におけるIT化やデジタル人材不足といった課題解決に向けて、県内企業のDX推進を担い、IT人材のU・Iターンなどの基盤となることが期待される組合等の設立を支援しました。

その他、会員組合及び組合員企業などの中小企業を対象に、長時間労働の是正、働き方改革の推進、賃金引上げが可能な企業への変革を目指した人材経営戦力の見直し、人手不足対策や魅力的な職場環境の整備、人材育成を目的に、各種セミナーの開催、大学生や留学生等と中小企業の交流会の実施、専門家の派遣による伴走型支援などを実施しました。

令和7年度事業計画では、1. 「地域産業の持続的な事業展開の推進」、2. 「生産性向上等による経営力強化」、3. 「連携による新たな産業と事業の創出」、4. 「人材の確保と育成・定着」の4項目を重点支援項目と定め、協同組合等連携組織への唯一の専門支援機関として、上記の4重点支援項目に係る事業を次ページのとおり実施します。



主催者挨拶を行う小山田会長



祝辞を述べる県商工労働観光部 橋場副部長



祝辞を述べる飯澤県議会副議長



祝辞を述べる御魚谷商工中金盛岡支店長

令和7年度 重点支援項目

1. 地域産業の持続的な事業展開の推進

人口減少、諸物価高騰下における経営力の強化と、事業の回復・再構築、並びにコロナ禍の影響が残る商店街の活性化に向け、国・県の事業などを活用し伴走型の支援を行う。

また、地域中小企業の持続的な事業展開を推進するためには、中小企業間の連携による地域課題解決に向けた取組に対し支援するとともに、次世代へ円滑に事業を引き継ぐ事業承継対策について支援するほか、人口の急減に対処する特定地域づくり事業協同組合の設立・運営並びに企業連携や組合の事業継続力強化計画策定を支援する。

さらに震災の沿岸被災地の復興は、本設での事業再開と新たな街づくりが概ね完了する中で地域経済の復興は途上にあり、引き続き被災事業者、被災組合等の事業継続に向けた取組を支援する。



懇親会で祝辞を述べる八重樫副知事

2. 生産性向上等による経営力強化

中小企業や組合等連携組織が掲げるビジョンの実現に向け、計画の立案を支援するとともに、経営革新等認定支援機関として、省力化設備への投資やデジタル技術の活用などによる生産性向上、さらには昨年設立されたIT事業者による協同組合との連携により組合等のDX化を加速させることで、中小企業等の稼ぐ力の向上と業務の効率化を推進する。

特に、昨年に開始された「中小企業省力化投資補助金」、継続される「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」の活用促進を図るため、他の経営革新等認定支援機関等との連携強化に引き続き取り組む。また、中小企業等の設備投資、IT導入、販路開拓等の支援を一体的かつ機動的に実施するため、補助事業の適正な実施と事業終了後の事業化を支援する地域事務局の運営を引き続き行う。

3. 連携による新たな産業と事業の創出

中小企業組合や企業間が連携した中小企業グループ等が事業活動を活性化する上で、経営資源の結集・補完を通じ、新たな発想のもとで地域資源等を活用した新商品・サービスの開発や高品質化、高付加価値化に取り組むことが重要である。

このため、回復・拡大するインバウンドを含めた観光需要の取り込みやILCの誘致実現等も視野に入れながら、地域内外における企業間や若手経営者間の連携を通じた新商品等の開発や新たなビジネスモデルの構築とデジタル技術を活用した起業・創業の促進に向け、総合的に支援する。



懇親会で挨拶を述べる日當副会長

4. 人材の確保と育成・定着

地域経済を担う中小企業の成長を図るためには、優れた人材の確保と育成・定着が不可欠であるが、初任給をはじめ人件費の高騰により、大企業・首都圏と中小企業・地方との賃金格差が拡大し、人材流出が増加傾向にある。

このため、経営戦略に基づく人材確保・育成に取り組む企業の支援や中小企業の魅力の発信、U・Iターンを含む若者・女性・シニア・外国人等といった多様な人材と中小企業との適切なマッチング環境の構築及び地域高等教育機関・関係団体等と連携した人材の育成・定着までを支援するとともに、働き方改革の促進にも寄与していくことで、「選ばれる岩手」に向け事業を展開する。

全国中小企業団体中央会 通常総会 開催

6月27日（金）、全国中小企業団体中央会の令和7年度通常総会が、ホテルニューオータニ（東京都千代田区）で開催され、本会からは小山田会長と瀬川専務理事が出席しました。

総会では、令和6年度決算関係書類及び事業報告書並びに令和7年度事業計画及び収支予算等が承認されたほか、任期満了による役員の改選が行われ、森洋会長が再選されました。

総会には、来賓として、竹内真二経済産業大臣政務官、小泉進次郎農林水産大臣、鰐淵洋子厚生労働副大臣、飯田健太中小企業庁次長、宮浦浩司農林水産省総括審議官（新事業・食品産業）、関根正裕株式会社商工組合中央金庫代表取締役社長、岡崎文太郎株式会社日本政策金融公庫代表取締役副総裁、宮川正独立行政法人中小企業基盤整備機構理事長らのご臨席をいただきました。

また、総会の席上、中小企業の組織化推進及び中小企業の振興に多大な功労のあった方々への功績をたたえ、中小企業振興功労者顕彰式を行い、稲山幹夫全国中央会前副会長（福井県中央会前会長）、戸高有基全国中央会前監事（大分県中央会前会長）に功労章を贈呈いたしました。

なお通常総会で承認された今年度の事業計画における重点事項は以下のとおりです。



【主催者挨拶を述べる森会長】



【顕彰式の様子：左から2番目 福井県中央会前会長 稲山氏、左から3番目 大分県中央会前会長 戸高氏】

全国中小企業団体中央会 令和7年度事業計画（重点項目）

1. 会員意見を反映した中央会の業務執行体制の強化

成果目標

- ・ 組合ブランドの構築・強化発信（キャッチコピーの作成、組合の新たな共同事業に取り組む組合や中央会の支援事例をWEB上でのPRコンテンツ掲載（20件））
- ・ 中小企業組合等課題対応支援事業の伴走支援率（100%）
- ・ オンライン配信を活用した中小企業組合士スキルアップ研修参加者のアップ（前年比5%増）
- ・ 中小企業組合士の活躍事例収集と周知（活躍事例3件）

2. 会員から身近で頼れる伴走支援と組合活性化に向けた取組みの推進

成果目標

- ・ 国等への各種政策提言（政府等に対して15回（うち労働政策5回））
- ・ 諸制度改正に伴う専門家派遣（価格転嫁推進等に係る相談、専門家派遣、講習会の開催（2,000件））
- ・ 団体協約の活用促進（100件）
- ・ 中小企業等経営強化法の「連携事業継続力強化計画」件数（100件）
- ・ 小規模事業者組織化指導事業の執行率向上（前年比2%増）
- ・ 都道府県中央会への政策に関する意見照会
- ・ ビジネス総合保険年間加入件数増（3万8千件）
- ・ 年間組合設立件数（年350件設立）
- ・ 人口急減地域特定地域づくり推進法の知事認定を受けた組合の新設数（15件）
- ・ ものづくり補助金における成果事例の収集・発信（10事例）
- ・ 省力化投資補助金における成果事例の収集・発信（10事例）

岩手県商店街振興組合連合会 令和7年度通常総会開催

6月25日（水）、カガヤ肴町ビル4階会議室にて、岩手県商店街振興組合連合会（佐藤 良介 会長）の令和7年度通常総会が開催されました。

議事では、令和6年度の事業報告及び決算関係書類、令和7年度の事業計画・収支予算案など6つの議案が上程され、満場一致により全て可決承認されました。

総会終了後、各商店街の近況などについて懇談が行われました。商店街イベント等の実施では、賑わいが戻ってきていると実感する一方、商店街内事業者の撤退や廃業により空き店舗も目立ちはじめているとの声も聞かれました。各商店街が抱える課題に対し、前向きに取り組んでいきたいとの意気込みが聞かれました。

当連合会では、今年度、中央会と連携し、組合の課題解決を図るための巡回指導、魅力ある個店づくりに必要な知識の習得や中心市街地の活性化に資するための講習会などの開催を予定しております。



通常総会の様子

全国中小企業青年中央会 通常総会・UBA サミット 開催

6月20日（金）、全国中小企業青年中央会の令和7年度通常総会が鳥取県鳥取市のホテルニューオータニ鳥取において開催されました。本県青年中央会からは平野会長、伊藤副会長、浦田副会長、会員1名、事務局の5名が出席しました。議事では、令和6年度の事業報告及び決算関係書類、今年度の事業計画並びに収支予算、会費の額及びその徴収方法の全3議案が原案のとおり、満場一致により可決承認されました。続いてサミットが開催され、『組合の現状と理想』をテーマに、各都道府県青年中央会の代表者がグループに分かれ意見交換が行われました。親会との組織としての関係の構築や、会員に対して青年中央会活動の周知等行っていくべきだといった意見が活発に交わされました。サミット終了後に行われた懇親会では11月に開催される「全国講習会 in 岩手」のPRを行いました。平野青中会長が登壇し、全国から集まった参加者に向け岩手の魅力をアピールし、岩手への多くの来訪を促しました。

※組合青年部全国講習会 in 岩手は11月14日（金）、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィングにて開催いたします。詳細については後日改めてお知らせいたしますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。



通常総会の様子



UBA サミットの様子



全国講習会 in 岩手のPR

大樹生命保険(株)岩手支社との連携協定締結

6月4日(水)、アートホテル盛岡にて「岩手県中央会と大樹生命保険(株)岩手支社との連携協定締結式」を開催しました。

本連携協定は、事業承継・事業引継ぎ、DX化を含めたデジタル活用、カーボンニュートラルに向けたグリーン社会への転換などの様々な経営課題への対応が求められている中小企業・小規模事業者に対して、岩手県中小企業団体中央会と大樹生命保険株式会社岩手支社が、緊密に連携し、経営支援力を強化することで、地域の中小企業・小規模事業者等が抱える様々な経営課題の解決を通じて、地域経済の活性化ならびに社会的責任を全うすることを目的としたものです。

協定式には、大樹生命保険(株)岩手支社からは小倉隆資支社長が、本会からは小山田周右会長をはじめ役員が出席し、協定締結後は「活力あふれる地域社会の創出」を目指し、今後も幅広い分野での連携を通じた協力体制の構築を確認しました。

「希望いわて」等との政策懇談会 小山田会長出席

6月20日(金)、岩手県議会会派「希望いわて」及び立憲民主党岩手県連・国民民主党岩手県連合同と本会との意見交換会が開催され、「希望いわて」側からは、国民民主党県連 軽石義則代表、立憲民主党県連 佐々木順一代表ら15名が出席し、本会からは、小山田会長、平野副会長、日當副会長、瀬川専務理事が出席しました。

冒頭、「希望いわて」の軽石代表と小山田会長から、それぞれ挨拶が行われた後、瀬川専務理事より、中小企業等の経営課題について説明。その後、懇談を行いました。

瀬川専務理事からは、昨年度の国への要望の実現状況及び政府の骨太方針2025の内容などを交え、変化してきた価格転嫁の構図の現状や、人口減少・少子高齢化社会に対応した経営意識の変革の必要性、生産性向上のための各種補助金における賃上げ要件の厳しさ、厳しい経営環境下における支援機関の組織体制強化と連携の重要性、市町村の発注など官公需における価格転嫁のための地方交付税の増額の必要性などについて説明。また、懇談では、価格転嫁のための環境整備、ILC誘致の推進、中小企業の賃上げ・生産性向上、県北・沿岸部と県央部との経済格差、インバウンドを含めた観光振興など多岐にわたる内容について、意見交換を行いました。

令和7年度 第1回いわてで働こう推進協議会 瀬川専務理事出席

去る6月18日、「第1回いわてで働こう推進協議会」が開催され、達増知事や小川岩手大学学長をはじめとする多くの関係者が集い、活発な意見交換が交わされました。

会議では、達増知事から「若者の県外転出に歯止めがかからない」現状への強い危機感が示されました。知事は、若者や女性が働きやすい環境を整備するためには、協議会を構成する団体が一丸となって取り組む必要があると強調しました。

また、県内各大学からは、令和6年度の就職内定状況が報告され、ここ数年、県内就職の割合が低下し、県外就職の割合が増加傾向にあることが明らかになりました。その背景には、就職活動の早期化、県内企業からの求人時期の遅れ、そして給与を重視する学生の増加といった要因が挙げられました。

このような課題に対し、当協議会の瀬川専務理事からは、意欲の高い若者の県内定着を目指す取り組みとして、中小企業連携型の新たなインターンシップモデルの立ち上げ事例が紹介されました。

協議会の結びには、瀬川専務理事より、本会の令和7年度の事業計画の中から、岩手県への移住定住を促進し、中小企業の生産性向上を通じた安定的な賃上げを実現するための3つ取組(Uターン人材による起業・創業支援、特定地域づくり事業協同組合制度の活用促進、支援機関のコーディネーター人材の育成)について紹介しました。本会では、これらの事業を通じて、岩手県内中小企業で働くことの魅力を高め、地域経済の活性化に貢献してまいります。

全国中小企業組合士協会連合会 令和7年度通常総会 出席

全国中小企業組合士協会連合会の令和7年度通常総会が東京国際フォーラムにおいて6月13日(金)に開催されました。岩手県中小企業組合士会からは佐藤会長が出席し、全3議案について原案通り可決承認されました。役員改選では、理事13名、監事2名が指名推選により選任され、総会後の理事会において北海道中小企業組合士会鈴木会長が会長に就任しました。

本県中小企業組合士会は現在約50名の組合士で構成されており、主に会員組合士の資質の向上のための研修や情報の提供を行っております。中小企業組合士については企画総務部までお問い合わせください。



主催者挨拶をする鈴木会長

令和7年度第1回「もりおか駅前開運ホコテン」参加

7月5日(土)に盛岡駅前商店街振興組合、盛岡商工会議所、本会などで構成する盛岡駅前ウォーカブルなまちづくり実行委員会(石田和徳委員長:盛岡駅前商店街振興組合理事長)は、「もりおか駅前開運ホコテン」を開催しました。

令和5年の初回開催からはじまり、昨年9月(来場者約1万8千人)と10月(来場者約2万8千人)の開催に引き続き、盛岡駅前から開運橋までの車道約150メートルを歩行者天国にして、フォトスポットや飲食、物販ブースが設けられ、会場は多くの来場者で賑わいました。

今年度は今回の第1回を含め9月6日(土)、10月5日(土)の3回開催を予定しています。



実行委員長挨拶: 石田理事長



餅振る舞いの様子



イベントの様子



ふわふわトランポリン

中小企業省力化投資補助金（一般型）第3回公募開始

事業目的

中小企業等の売上拡大や生産性向上を後押しするため、人手不足に悩む中小企業等が、IoT・ロボット等の人手不足解消に効果があるデジタル技術等を活用した設備を導入するための事業費等の経費の一部を補助することにより、省力化投資を促進します。これにより、中小企業等の付加価値額や生産性向上を図り、賃上げにつなげることを目的とします。

補助対象となる事業

人手不足の中小企業などが、省力化効果のあるオーダーメイド・セミオーダーメイド性のある設備やシステムなどを導入し、「労働生産性 年平均成長率4%向上」を目指す事業計画に取り組むものが対象です。

基本要件

- ①労働生産性の年平均成長率+4.0%以上増加
 - ②1人当たり給与支給総額の年平均成長率が事業実施都道府県における最低賃金の直近5年間の年平均成長率以上、又は給与支給総額の年平均成長率+2.0%以上増加
 - ③事業場内最低賃金が事業実施都道府県における最低賃金+30円以上の水準
 - ④次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を公表等（従業員21名以上の場合のみ）
- ※基本要件などが未達の場合は、達成率に応じて補助金返還義務があります。

補助率と補助上限額

従業員数	補助率	補助上限額	大幅な賃上げを行う場合
5名以下	中小企業 1/2	750万円	1,000万円
6～20名		1,500万円	2,000万円
21名～50名	(※2/3)	3,000万円	4,000万円
51名～100名	小規模・再生 2/3	5,000万円	6,500万円
101名以上		8,000万円	1億円

※補助金額が1,500万円を超える部分は1/3

大幅な賃上げとは

- ①給与支給総額の年平均成長率+6%以上増加
- ②事業場内最低賃金が事業実施都道府県における最低賃金+50円以上の水準

※補助率が2/3にアップする

【最低賃金引上げ特例】の適用要件

中小機構が指定する一定期間において、3か月以上地域別最低賃金+50円以内で雇用している従業員が全従業員数の30%以上いること

公募受付期間

公募開始日	2025年6月27日	申請受付開始日	2025年8月上旬（予定）
公募締切日	2025年8月下旬（予定）	採択発表日	2025年11月中旬（予定）

お問合せ先

【中小企業省力化投資補助事業 コールセンター】TEL:0570-099-660 IP 電話用:03-4335-7595

お問合せ時間：9:30～17:30／月曜～金曜（土・日・祝日除く）

【中小企業省力化投資補助事業ホームページ】URL：<https://shoryokuka.smrj.go.jp/>

【岩手県省力化補助金事務局】URL：<https://reserva.be/shoryokuka>

本会では、本補助金の地域事務局としてインフォメーション窓口を設置し、下記の対応をしております。インフォメーション窓口の利用には事前予約が必要となります。

- ①中小企業省力化投資補助金制度全般に関するご案内
- ②応募・交付申請（公募要領、申請における留意事項）に関するご案内
- ③交付決定以降実績報告までの手続きのご案内

中小企業省力化投資補助金「カタログ注文型」公募受付中

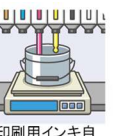
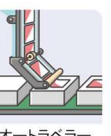
中小企業省力化投資補助金「カタログ注文型」は、中小企業等の売上拡大や生産性向上を後押しするため、人手不足解消に効果がある汎用製品で補助の対象となるものをあらかじめ登録・掲載し、中小企業等が選択して導入できるようにすることで、簡易で即効性がある省力化投資を促進するものです。

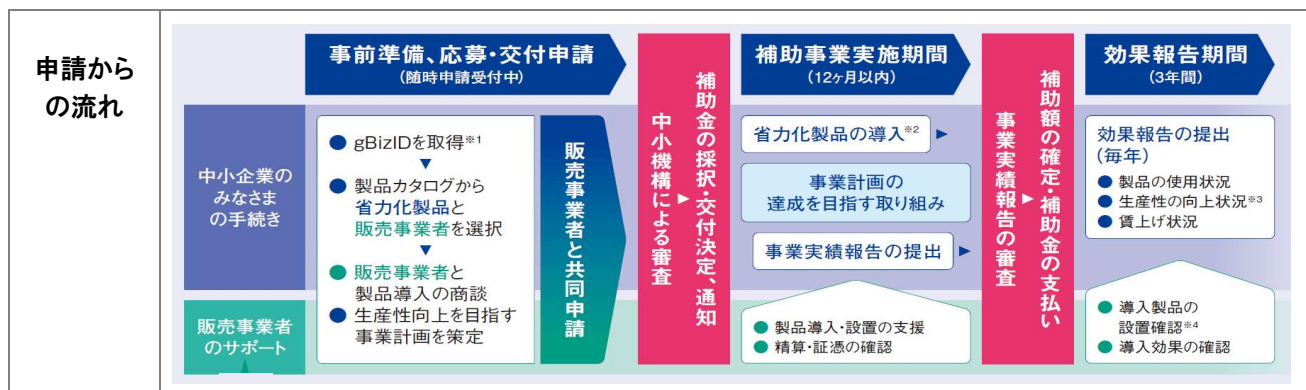
- 対象製品のリスト(カタログ)に登録された汎用製品から事業課題に合わせて省力化製品を選択できます。
- 申請手続きが簡易で申請から交付決定まで最短1ヶ月。随時公募受付のためいつでも申請が可能です。
- 省力化製品の「販売事業者」が、省力化製品の導入と補助金申請・手続きをサポートします(共同申請)。

補助対象となる事業	人手不足の中小企業などが、省力化製品を対象製品のリスト(カタログ)から選んで導入し、販売事業者と共同で「労働生産性年平均成長率3%向上」を目指す事業計画に取り組むものを対象とします。 ※申請時に全ての従業員の賃金が最低賃金を超えていること、補助金の重複に該当しないことなどの要件を満たす必要があります。また補助金の交付が決定された場合でも事業実績報告の審査によって補助額の減額となる場合があります。
-----------	---

補助率と補助上限額	従業員数	補助率	補助上限額		補助上限額がアップする【大幅賃上げ特例】の適用要件 事業終了時に①給与支給総額+6%以上かつ②事業場内最低賃金+45円以上とする計画を策定し申請する必要があります。
				大幅な賃上げを行う場合	
	5名以下	1/2 以下	200万円	300万円	
	6～20名		500万円	750万円	
	21名以上		1,000万円	1,500万円	

※各申請における補助額の合計が補助上限額に達するまでは複数回の応募・交付申請が可能です。

補助対象 (カタログ掲載) 製品のカテゴリ どんどん追加中!	<製品カテゴリ総数 95、製品登録総数 986> (令和7年7月3日時点) (以下はカテゴリの一例)  清掃ロボット  発売機  無人搬送車  5軸制御マシニングセンタ  スチームコンベクションオーブン  測量機  印刷用インキ自動計量装置  オートラベラー  バランス装置
---	---



活用事例

株式会社7CIRCLE

【所在地：千葉県／業種：飲食業／従業員数：3人／資本金額：100万円】

事業概要

自家焙煎珈琲と手作りシフォンケーキのカフェを運営。ハンバーグやナポリタンなどの食事メニューも提供している。

導入設備

販売事業者
(株)フジマック

スチームコンベクションオーブン

省力化効果

<ハンバーグ調理業務>

(導入前)

・2～3 個／1 回

・ガス火前で待機が必要

(導入後)

・20～30 個／1 回

・ガス火前での待機不要

→ 空いた時間をサービス向上や新メニュー開発に

事業者コメント

● インターネット上の動画で補助金を知った。欲しい製品がカタログに登録されるのを待って申請した。

● フライパンでは 1 度に 2～3 個しか作れないハンバーグを一気に 20～30 個仕込めるようになり楽になった。

● 補助金事務局の対応が丁寧だった。申請から交付決定までも迅速だった。

対象製品のリスト(カタログ)、公募要領などは省力化投資補助金ホームページをご確認ください。
 ※ホームページ・お問合せ先(コールセンター・インフォメーション窓口)は前ページに掲載した「一般型」と共通です。

令和 7 年度働き方改革推進支援事業の概要

この度、本会では、厚生労働省（岩手労働局）の令和 7 年度「働き方改革推進支援助成金（団体推進コース）」に採択されました。会員組合および組合員企業向けに、以下の事業を実施します。

なぜ今、人材戦略が重要なのか？

地域経済を支える中小企業の成長には、優秀な人材の確保と育成・定着が不可欠です。しかし、人件費の高騰や大企業・首都圏との賃金格差により、地方の中小企業は人材流出に直面しています。

そこで、本会では、経営戦略に基づいた人材確保・育成の支援、企業の魅力発信、そして多様な人材とのマッチング機会等を支援します。さらに、働き方改革を促進することで、岩手県内の中小企業が持続的に成長できる環境を整備し、「選ばれる岩手」の実現を目指しています。

1. 実践的なセミナーで知識とノウハウを習得（全 12 回）

「働き方改革」「人材経営戦略」「生産性向上」など、中小企業が今すぐ取り組むべきテーマに特化

開催日時	会場	セミナーのテーマ	講師
8 月 1 日(金) 13:30～	マリオス 18F	中小企業のための採用戦略・標準化セミナー	オフィス 55 代表 高木 茂 氏
8 月 8 日(金) 13:30～	マリオス 18F	ダイレトリクルーティング実践セミナー	オフィスイグニッション 代表 内海 由香 氏
8 月 21 日(木) 13:30～	オンライン	中小企業のためのデジタル化入門	DX 支援コーディネータ 高橋 健一 氏
8 月 22 日(金) 13:30～	オンライン	業務効率を劇的に向上させる IT ツール活用術&補助金・助成金の活用の仕方	DX 支援コーディネータ 高橋 健一 氏
8 月 27 日(水) 13:30～	マリオス 18F	女性とグローバル人材が活躍するダイバーシティ&インクルージョン	㈱スリーデイズ 代表取締役 伊藤 理恵 氏
9 月 3 日(水) 13:30～	マリオス 18F	管理職のための「ハラスメント防止」と「部下のメンタルケア」実践スキル	CO.CORO サポート 代表 藤村 七美 氏
9 月 10 日(水) 13:30～	オンライン	社員が給与を決め、社長が管理から開放される、自走する会社の作り方	㈱手放す経営ラボラトリー 代表取締役 坂東 孝浩 氏
9 月 16 日(火) 13:30～	オンライン	DX の推進役を社内で育成 ～1 人目からはじめる DX～	㈱興縁 代表取締役 阿部 拓磨 氏
9 月 17 日(水) 13:30～	オンライン	知名度向上・売上アップにつなげるホームページを活用した営業効率化術	Office K 代表 加藤 千尋 氏
9 月 18 日(木) 13:30～	オンライン	職場を変えるスモール DX ～身近な業務からデジタル化～	㈱Techtonix 代表取締役 内城 瑛 氏
9 月 19 日(金) 13:30～	オンライン	今からでも間に合う中小企業の現場に合った AI 活用	Defios(株) 代表取締役 竹田 大将 氏
9 月 26 日(金) 13:30～	マリオス 18F	働き方改革で「儲かる会社」に変わる生産性向上術	中小企業診断士 伊藤 朗 氏

2. 無料専門家派遣：専門家による伴走型支援で課題を解決（支援企業数 10 社）

人材確保・育成・定着に課題を抱える企業に対し、人材・経営コンサルタントや IT 専門家を派遣し、個別の経営課題解決を徹底的にサポートします。

3. 魅力発信ガイドブックの作成（4,000 部）

4. ジョブシャドウイングによる職業体験の実施（5 社程度）

5. 企業と学生の交流会（1 回）

6. 高度外国人材（留学生）と中小企業の交流会（ワークショップ）（2 回）

この機会に、貴社の人材戦略を見直し、持続的な成長を実現しませんか？ ぜひ、本事業の活用をご検討ください。

起業支援金 活用事例のご紹介：ジェラテリア ティアラ（紫波町）

本会では、地域課題の解決を目的として起業等を行う者に対し、起業又は新たな事業の実施に必要な経費の一部として支援金を支給するとともに、事業の立ち上げを伴走的に支援する「岩手県地方創生起業支援金事業」を令和元年度より実施し、これまでに42名の起業等を支援しています。

今回は、令和5年度の支給対象事業者「ジェラテリア ティアラ」（代表 高橋和司 氏）をご紹介します。

○テーマ

紫波町内外で収穫された規格外の農産物と地域の農業の魅力をジェラートと洋菓子をとおしてお客様に伝えたい。

○事業概要

岩手県内産の新鮮なミルクをベースに作られるジェラートと洋菓子のお店です。地元紫波町産のりんごやブドウ、岩手県内の野菜やフルーツなどを使用したジェラートやケーキ、焼菓子の製造・販売を行っています。

店舗経営を通して、農業者が丹精込めて生産した農産物の一部が規格外のため廃棄されるという現状をお客様に伝え、規格外農産物に関する理解促進を図りながら、それらの規格外農産物をジェラートのフレーバーや洋菓子の材料に活用することで、廃棄食材を減らす取り組みを行うとともに、生産者や農産物の魅力を発信し、紫波町産農産物の認知度向上に寄与しています。

2年間培ったパティシエとしての経験とスキル、本場イタリアで学んだジェラート製造技術を活かし、自身が製造したジェラートやケーキなどを直接販売し、お客様が喜ぶ姿を見て、日々やりがいを感じているとのこと。

フレーバーは、紫波町産のりんごやブドウ、定番のミルクやチョコレイト、ピスタチオなど、全部で20種類以上あり、店頭には常時10種類が並びます。その他、フィナンシェなどの焼菓子やケーキを販売しています。

○今後の展望

紫波町民の方々に、ジェラートやケーキは当店が一番と言ってもらえるよう、常に丁寧な接客と安心安全で美味しい商品の提供を目指しています。

将来的には、キッチンカーによる移動販売やイベント出店を通して、さらに多くのお客様と出会い、当店のジェラートやケーキのファンを増やしていきたいと考えています。



店主の高橋 和司 氏



店舗の外観



店頭には豊富な種類のジェラートが並び



季節限定のフレーバーなどInstagramで発信中

@gelateria_tiara



企業連携による地域課題対応新事業展開支援事業費補助金 活用事例のご紹介：水沢鋳物工業協同組合（令和6年度採択）

水沢鋳物工業協同組合（及川 貢基 理事長）は、『東南アジア・タイでの「南部鉄器」販路開拓に向けての市場調査と東京・代官山での若年層の「南部鉄器」ファン獲得に向けての市場調査事業』をテーマに補助事業に取り組みました。

■背景・課題、補助事業の内容

本補助事業では、東南アジア・タイ市場と関東圏の若年層（20代・30代）をターゲットとした販路開拓および市場調査に取り組みました。

当組合では、これまで中国市場を中心に海外の販路開拓を進めていましたが、コロナ禍により、受注が減少しており、新たな販路として ASEAN 地域貿易の拠点であり、消費が拡大し、日本の製品や文化に興味を持つ方が多いタイ・バンコク市場における「南部鉄器」の販路開拓に向けて、市場の可能性を調査することを目的とし、「南部鉄器」製品を日本文化・伝統的工芸品・日本食を PR する展示会に出展しました。（開催期間：2024年8月28日～9月3日、於：サイアム・パラゴン（バンコク））

一方、国内では、これまで首都圏、九州地方の百貨店の催事などを中心に展覧をしてきましたが、百貨店での「南部鉄器」の購買層は40代以上が大半を占めており、若年層に対し、「南部鉄器」の認知度が特に低い傾向にありました。そこで、新しいトレンドやライフスタイルに対して感度が高い若年層が多く訪れる代官山蔦屋書店にて、商品 PR 及び将来に向けた職人人材確保を目的に展示会を開催しました。（開催期間：2025年1月18日～31日、於：代官山 T-SITE 蔦屋書店）

■今後の展望

タイ市場調査では、ブース訪問者の9割以上が、「南部鉄器を知らない」と回答し、知名度が低いことがわかった一方、「デザインが美しい」などの声もあり、興味を持ってくれた方へ丁寧に説明することで「南部鉄器」の良さを伝えることができました。今回のタイ市場調査を契機に、今後は、タイをはじめ ASEAN 地域での販路開拓に適した展示会について、ジェトロ等への相談を通じて、検討していくこととしております。

国内の若年層に向けた市場調査では、来店した若年層に対して、鉄瓶職人による「南部鉄器」の製造工程や展示品の説明を行ったことで、「南部鉄器」および産地としての岩手県奥州市の認知度を高めることができ、また、鉄器職人に興味を持ってくれた方もいました。今後は、SNS での発信とともに、奥州市を訪れる県外若年層へのアプローチ、関東圏での展示会への参加を通して、若年層に向けた商品の PR および人材確保の取組みを継続することとしています。



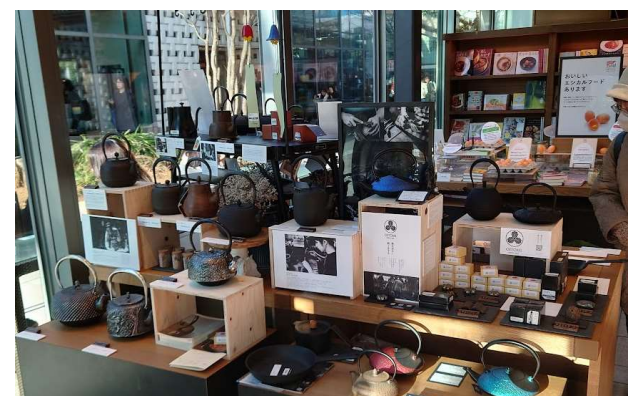
展示ブースの様子（タイ・バンコク）



来訪者へ説明の様子（タイ・バンコク）



展示会の会場（代官山蔦屋書店）



展示の様子（東京・代官山）

中小企業退職金共済のご案内

中小企業退職金共済制度は、昭和 34 年に中小企業退職金共済法に基づき設けられた中小企業のための国の退職金制度です。中退共制度をご利用になれば、安心・確実・有利で、しかも管理が簡単な退職金制度が手軽に作れます。中退共制度は、独立行政法人勤労者退職金共済機構・中小企業退職金共済事業本部が運営しています。是非、この機会に加入をご検討ください。

人も、会社も、もっと元気に！

中退共

CHU TAI KYO

小企業 退職金 共済制度

- ◆ 掛金の一部を国が助成
- ◆ 掛金は全額非課税。手数料も不要
- ◆ 外部積立型なので管理が簡単
- ◆ パートさんの加入もOK



詳しくはホームページへ

中退共
検索



(独) 勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部

TEL.03-6907-1234 FAX.03-5955-8211

毎月勤労統計調査（特別調査）へのご協力をお願い

厚生労働省では、本年 7 月 31 日現在で、常用労働者を 1～4 人雇用している事業所を対象に、毎月勤労統計調査(特別調査)を実施します。

この調査は、1～4 人の常用労働者を雇用する小規模事業所における雇用、給与及び労働時間の実態について全国及び都道府県別に明らかにすることを目的に実施しており、調査結果は、小規模事業所の実態を示す資料として国民経済計算（GDP 統計）の作成等に使用されています。

調査対象となる事業所には、8 月から 9 月にかけて都道府県の統計調査員が訪問し、調査の御依頼をいたします。

調査に書かれた内容は、「統計法」により厳しく守秘義務が課せられ、また、統計以外の目的に用いることも固く禁じられていますので、何卒、調査に御協力くださいますようお願いいたします。

◇詳しくは厚生労働省ホームページをご覧ください◇

トップページ → 統計情報・白書 → 各種統計調査 →
 厚生労働統計一覧 → 7.雇用 → 毎月勤労統計調査



1. 全国の景況

(全国中小企業団体中央会 令和7年6月25日発表)

5月の景況DIは製造業・非製造業ともに小幅上昇。製造業では、価格転嫁が徐々に進行しており、コストの上昇についても落ち着きを見せてはいるものの、先行きに対する不透明感が強くあり、景況感はわずかな改善に止まっている。非製造業では、引き続き堅調なインバウンド需要に支えられていることにより、サービス業・運輸業の景況感が回復したことで、全体としても小幅ながら上昇となった。今後の米国関税政策の影響を懸念する声が、業種を問わず、数多く寄せられている。

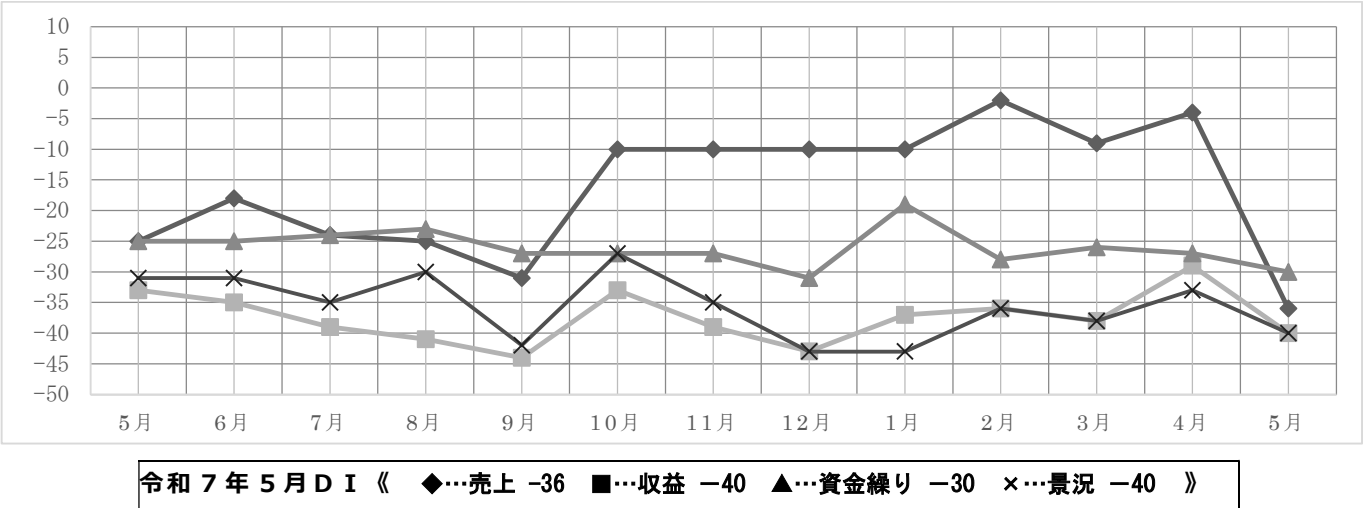
2. 景況天気図（県内）…令和7年4月と令和7年5月のDI比較

天気図の見方…各景況項目について「増加」「好転」業種割合から「減少」「悪化」業種割合を引いた値をもとに作成。ただし、在庫数量はプラスの場合は雨、マイナスの場合は晴れの方を表す。										30 以上
令和7年	全産業			製造業			非製造業			
5月分	4月	5月	前月比	4月	5月	前月比	4月	5月	前月比	10～29
売上高	 △ 4	 △ 36	32P	 △ 13	 △ 61	48P	 0	 △ 22	22P	
在庫数量	 0	 △ 8	8P	 △ 13	 △ 17	4P	 11	 0	11P	△9～9
販売価格	 44	 34	10P	 31	 17	14P	 50	 44	6P	
取引条件	 △ 10	 △ 6	4P	 △ 6	 △ 6	0P	 △ 13	 △ 6	7P	△10～△29
収益状況	 △ 29	 △ 40	11P	 △ 50	 △ 61	11P	 △ 19	 △ 28	9P	
資金繰り	 △ 27	 △ 30	3P	 △ 31	 △ 39	8P	 △ 25	 △ 25	0P	△30～△49
設備操業度	 △ 13	 △ 22	9P	 △ 13	 △ 22	9P			—	
雇用人員	 △ 15	 △ 18	3P	 △ 19	 △ 22	3P	 △ 13	 △ 16	3P	△50 以下
業界の景況	 △ 33	 △ 40	7P	 △ 50	 △ 56	6P	 △ 25	 △ 31	6P	

DI (Diffusion Index) とは、景気動向指数や景気判断指数と呼ばれており、景気動向を早期に把握するために使われる指標である。「増加・上昇・好転」といったプラス回答の比率から「減少・低下・悪化」というマイナス回答の比率を差し引いた指数のこと。

3. 全産業（県内）…令和 6 年 5 月～令和 7 年 5 月 DI 推移（売上高・収益・資金繰り・景況）

○情報連絡員数 51 名・回答者数 50・回答率 98.0%



4. 各業種の概況（県内）…令和7年5月分

◇パン製造業

物価高の波に乗れなかった一部事業所では、賃金や原材料などの経費増に耐えられず、低迷状態に陥っているところも見られる。

◇めん類製造業

ゴールデンウィークのお土産品等の売上は昨年並みであった。観光客、帰省客とも昨年並みの結果となった。

◇一般製材業

県内の新設住宅着工戸数は、前年同期比 36%減の 497 戸と大幅に減少した。4 月 1 日施行の改正建築基準法が、今後新設住宅着工戸数にどのように影響するか注視する必要がある。製材品の動きは鈍い状況が継続し、価格は横這いで推移している。

◇家具・装備品製造業

5 月の出荷額は前年同月比 57%の減少。2 ヶ月連続で前年の半分程度の出荷額となり、11 ヶ月連続で前年実績を下回る危機的な状況が続いている。

◇印刷・同関連業

年度替わりも一段落し、官公庁の発注が落ち着いてきた。民間需要は相変わらず低迷が続いている。一部、ネットから折込へ戻る動きがあるようだ。

◇生コンクリート製造業

5 月の生コン出荷量は、一部地域で前年を上回っているものの、前年割れの地域が多く、全体では引き続き前年の 8 割程度（85%）に留まっている。

◇金属製品製造業

各社の工場稼働率、工場加工費等、先月と比べて大きな変化はない。前月増加した見積依頼数は減少となった。先行きに明るさは感じられず、しばらく我慢の状況が継続するとの見方が殆どである。

◇野菜果実卸売業

野菜と果実を合わせた合計取扱数量は前年比 98.1%、単価は前年比 88.9%、合計取扱金額は前年比 87.2%となった。気候が安定し、野菜類の生育が順調のように入荷量は概ね安定した。

◇水産物卸売業

5 月の水産物取扱高は、取扱量 722 t (前年同月比 4.1%減)、取扱金額 999 百万円(前年同月比 6.9%増)であった。取扱量は全体的に減少し、取扱金額の上昇がみられた。小売の価格も上昇しており、消費者の魚離れが懸念される。

◇食肉小売業

5 月後半から豚枝肉相場が高騰し、売上減少の中、利益確保が非常に厳しい状況となっている。

◇酒・調味料小売業

5 月は、大型連休による人流の増加により、繁華街や観光地がにぎわいをみせ、飲食店へ納入している酒類は堅調だった。一方、値上げに伴い、駆け込み需要が発生したこと等による買い控えの広がりとの影響から店頭販売数量は減少した。

◇各種商品小売業

前年比で売上 90%・客数 104%と売上は減少、客数は横ばい状態となった。物価高騰の影響が続く中、お客様の買い控えの影響が大きいと感じる。食品関係はほぼ横ばいであるが、その他の落ち込みが目立っている。

◇商店街（盛岡市）

盛岡駅前周辺では首都圏からの来県や修学旅行での来県が活発でレンタカーの利用度も高い。盛岡三大麺を扱う各社では昼間から行列が出来ている。飲食店の利用は増えているが、物価高による経費増で収益が圧迫される状況に変わりはない。

◇商店街（一関市）

値上がり続ける食料品への消費支出のためか、買回り品を主に取り扱う店舗では売上が厳しいという声が多い。

◇旅行業

災害補償保険掛金（旅行企画の際掛ける保険）は前年同月より若干下回っているものの同等である。ただし、好転しているとはいえない。

◇建物サービス業

特段の大きな動きはなく単発の入札対応中。契約額は増加傾向にあるが、人件費・資材費の上昇分が委託料に反映しきれておらず、景況は厳しい。

◇塗装工事業

いくらか上向きに転じてきているが、依然として厳しい状況。民需が苦しい。小規模の組合員企業で後継者がいない。後継者候補がいたとしても後を継がない事例が多く、廃業が多くなってきた。

◇土木工事業

5 月の出荷数量は昨年対比で 71%と減少した。公共工事、民間工事ともに低調で厳しい状況。今後もしばらくは低調のまま続いていく見通し。4 月からの生コン価格の値上げを浸透させることが非常に重要となっている。

◇倉庫業

5 月の事業収入は前年度比 1,026 千円増。新年度からの保管料引上げの効果が出ているが、前月比では 570 千円の減少である。

岩手県中央会第 50 回県大会及び創立 70 周年記念式典 開催のご案内

下記日程にて、岩手県中央会創立 70 周年記念式典等の開催を予定しておりますのでお知らせいたします。

■ 開催日時 令和 7 年 10 月 7 日（金） 13:30～（予定）

■ 開催場所 ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィング「メトロポリタンホール」

詳細につきましては、後日改めてお知らせいたします。

第 77 回中小企業団体全国大会 開催のご案内

■ 開催日時 令和 7 年 11 月 12 日（水） 13:00～

■ 開催場所 広島県立総合体育館（広島グリーンアリーナ）（広島市中区基町 4-1）

■ 主催 全国中小企業団体中央会・広島県中小企業団体中央会

■ 参加料 1 人 6,600 円／交流会 1 人 5,500 円

■ 内容 13:40～14:10 開会挨拶、開催地挨拶、歓迎挨拶、来賓祝辞

14:10～15:30 議案審議、大会宣言、表彰式（全国中央会会長表彰）

※物産展も同会場で開催予定

■ アクセス バス／「紙屋町」又は「バスセンター」下車

路面電車／「紙屋町西」又は「原爆ドーム前」

下車アストラムライン／「県庁前」下車（西 2 出口＜基町クレド側＞）

※詳細につきましては、広島県中央会のホームページをご確認ください。

https://chuokai-hiroshima.or.jp/hiroshima77.php?action=defaultaction_show_detail



中央会 新入職員の紹介

令和 7 年 7 月 1 日付けにて、職員 1 名を採用しましたのでご紹介します。

氏 名 **内田 結衣**（うちだ ゆい） 北海道教育大学 教育学部 国際地域学科 卒

所 属 企画総務部 〈ご挨拶〉

出身地 八幡平市 前職はドラッグストアに勤務しておりました。

趣 味 ランニング 未経験ではありますが、失敗を恐れず様々なことに
食べ歩き 挑戦していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



岩手県中小企業団体中央会 主要日誌（令和 7 年 6 月分）

中央会 主な実施事業等			
6 月 3 日	地域活力強化委員会	6 月 16 日	岩手県中小企業団体中央会通常総会
6 月 4 日	産業活性化委員会	6 月 30 日	地区別懇談会（盛岡（商業））
6 月 4 日	大樹生命岩手支社との連携協定締結式		
関係機関・団体主催行事への出席等			
6 月 6 日	岩手地方最低賃金審議会第 1 回本審	6 月 18 日	東北・北海道ブロック中央会会長会議等
6 月 9 日	いわて教育の日推進協議会全体会議	6 月 18 日	第 1 回いわてで働こう推進協議会
6 月 10 日	いわてグローバル人材育成推進協議会総会	6 月 19 日	いきいき岩手支援財団定例評議会
6 月 10 日	いわて地域資源活用・地域連携サポートセンター運営委員会	6 月 20 日	「希望いわて」との政策懇談会
6 月 10 日	岩手県政 150 周年記念事業実行委員会総会	6 月 20 日	全国中小企業青年中央会通常総会
6 月 12 日	岩手県 ILC 推進協議会役員会	6 月 25 日	岩手県商店街振興組合連合会 通常総会等
6 月 12 日	岩手県商工会議所連合会総会	6 月 25 日	映画館通り街づくり協議会総会
6 月 13 日	全国中小企業組合士協会連合会総会	6 月 27 日	全国中小企業団体中央会通常総会